総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成28年5月23日(月)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時30分
出 席 者	委員長 我妻 薫 副委員長 山岸 三男 委員 藤田 洋一 委員 櫻井 功紀 委員 鈴木 宏通 委員 前原 吉宏
欠 席 者	委員 千葉 一男
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局次長 佐藤俊幸
協 議 事 項	・農商工連携による活性化について(行政視察の件)
そ の 他	
閉 会	午前10時30分

2号様式 協議の経過

我妻委員長

おはようございます。

何回も常任委員会を開催するようになって大変申し訳ございません。今日までの課題、副委員長とも相談しながら、また鈴木さんの協力も得ながらきましたけれども、なんとか今日で決めたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

(「はい」の声)

千葉委員、今日は欠席との通告がありましたので報告します。委員会は6名出席しておりますので成立しております。

ただいまから常任委員会、農商工連携による活性化についての視察の件について論議をしてみたいと思います。

お手元にペーパーをお渡ししております。若干、経過を申し上げますと、八雲、北斗市、あの辺での農商工連携の実績のあるところを探して、八雲町、北斗市、函館市についていろいろ調べてみましたけれども、北斗市については農商工連携での中小企業、これは直接に市との関わりを見たんですが、そう積極的に取り上げているようでもなく難しいなど。あと函館市のほうも一応、検討してみたんですけども、なかなか市の取り組みとしては。直接、施設のほうに行ってくださいではね、市におじゃまするのにはちょっと失礼にもあたるのかな、そんな思いもしました。

八雲町のほうはここにも書いていますが、情報交換物産館というのが2年前にリニューアルオープンしてまして、リニューアル前後の状況とか活用状況。ここは の地元産の豆と米にこだわった味噌、これでブランドを構築しようという取り組みが、これは物産担当との連携も取ってやっているようでございまして、ここについては連携しているところについて町のほうと意見交換しながら実際にやっている業者さんとのコンタクト、聞かせてもらってもいいのかなと。

ただし、さっきも言いましたけども、この近くというと北斗市も函館市もちょっときつかったので、少し足を延ばして江別市。

ここは前にも農商工連携88選、全国的にも取り上げている中の一つに入っているんです。そしてここには江別麦の会という組織がございまして、麦をベースに活性化を図っているということでございまして、小麦ですね、市を上げて活性化のほうに活かしていると。市のホームページなんかでも麦の会の表彰などを大々的に取り上げている。市全体のオール江別。下に書いてありますが、江別麦の会というのが作られていて、それを中心に江別にあるいろんな業種が。オール江別というのはそういう意味で、一本になって取り組みをしているという内容のようなので、これは我々、農商工連携を含めて考えて、一番に大きいものかなということで江別のほうも調べてみました。

最後は、じゃ、距離的に財政的に可能かということで、交通費試算と下に書いていますが、試算としては八雲町を一日目の午後に視察して、その日のうちに江別かその近くまで行くか。次の日に江別を中心に視察して、

	<p>その近くに一泊したら、江別から小牛田まで来るのにこれまた朝に出て夜、5時過ぎます。このルートしかないのかなと一応、料金も含めて出してみました。</p> <p>細かいところまではなかなか副委員長と事前にできませんで、さっき言ったように函館市周辺で行政との関わりを調べましようということでしたが、最後の江別のところまでは副委員長とは直接、相談できなくて申し訳なかったですけど。</p> <p>以上、ざっくばらんに提起したいと思います。</p> <p>はい、副委員長。</p>
山岸委員	<p>まず、この八雲町と江別市に絞るしかないのかなと思いますし、皆さんからなにか提案があればね。今日、とにかく最終で、あとは旅行社に頼まなくちゃならない状況なので。</p> <p>委員長が言った麦の会というのは、私もちらっとスマホで調べたら岩手県にも麦の会、全国的に麦の会というのがあって、要するにうどんとか天ぷら粉とか小麦粉だね、それを全国展開しているみたいで、確かに農商工連携にはなっていると思うし88選に入っているから、この江別市の麦の会への視察は私たちの目的にもかなっていると思う。問題なのは距離。江別というのは札幌から車で20分ぐらいのところにあるらしいんだよね。</p> <p>(「札幌の隣町です」の声)</p> <p>問題はさっき言った、初日は午後から。午後には大丈夫なんだよね、八雲町には行けるよね。</p>
我妻委員長	<p>今、副委員長から麦の会、いいじゃないかという話が出ましたけど。</p> <p>八雲も88選には入っていないんですけど、農商工連携のJネット21で選ばれたところでもございまして、味噌のブランド構築。地元の豆と米を使っていると。うちのほうでも豆なんかの転作も含めて増えている。そういう転作絡みのつながりもあるのかなという思いもしました。</p> <p>江別だけということにもならないし、鈴木さんにも調べてもらったんですが、当別。当別はまだ計画の中なそうなんです。うちのほうからちょっと進んでいるくらいなので。</p> <p>江別からもっと東のほうとか北のほうとかに移動すれば、なおさら2カ所回るのが困難なんですね。</p> <p>はい、櫻井委員。</p>
櫻井委員	<p>そうすると研修場所というのは八雲町役場と江別市役所と認識していいですか。</p>
我妻委員長	<p>八雲町は が役場。 が味噌のブランドやっけていまして、服部醸造というのがメインなんです。要するに大豆を加工してるところね。これは八雲町との話し合いによって、業者ですからそこまで視察してもらえるかどうかは。もう一つは丸富研究農場、豆を作っているほうね。そっちに行って農場を見せてもらうより、加工しているほうがメインかなと思ひまして、できるならば服部醸造ということですよ。</p> <p>江別市のほうは、 が市で全体的な取り組みをお聞きする。 は江別</p>

	<p>の会のほうを、できれば視察させてもらえればいいなど。ここが中心になってオール江別という市内のいろんな加工業者と一緒にあって、麦マップというのを見ると、麺、パン、マップを作って市内全体の活性化にもつなげている。生産者のほうではハルユタカという小麦の品種を開発して、それがベースになっている。江別市のほうに問い合わせして、麦の会のほうも視察させていただきたいと。要するに行政と業者を一つ。</p> <p>そのほかにも八雲については施設、丘の駅とか。江別についても必要であれば販売しているところなんかもね。メーンは服部醸造と江別麦の会。</p> <p>はい、櫻井委員。</p>
櫻井委員	<p>そうすると受け入れ先についてはこれから交渉するということなんですね。もう1点、交通費の試算ということで、これは電車での旅費ですか。</p>
我妻委員長	<p>はい。</p>
櫻井委員	<p>行くとすれば、パックを使うとなれば千歳空港に飛ぶんでしょう。</p>
我妻委員長	<p>交通費の試算についてはネットでやった範囲ですから。まだ業者で調べていないので。飛行機なんかを入れるコースもあるのですが、必ずアップするんです。全部、陸路です。さっき副委員長が言った順序ですが、一番下の江別から小牛田、これは帰りで積算していますが、朝出て夕方に着くので全然視察はできません。ですから江別と小牛田の間に一つ日程を入れるというのはきついと。しかも江別と八雲を同じ日に2カ所見るというのも不可能なので、江別を入れるときは1日、そこしかない。あとは、八雲は古川7時頃で行けば、12時前に着くんです。その日の4時頃の八雲発で行けば江別に7時頃着けるので。いずれこの段取りで1日目は八雲を入れると。</p> <p>藤田委員。</p>
藤田委員	<p>休憩で。</p>
我妻委員長	<p>休憩します。</p>
	<p>休憩</p> <p>9:49</p> <p>再開</p> <p>9:52</p>
我妻委員長	<p>再開いたします。</p> <p>櫻井委員。</p>
櫻井委員	<p>委員長、副委員長、鈴木さん含めてご苦労さまでした。本当に大変な作業だと思います。</p> <p>最終的にこのバージョンで私もいいと思いますので、その線で進めていただきたいと思います。ただ、受け入れ態勢がどうなのかということと、今後パックを使うとか業者どうするかはお任せしますから。</p> <p>いいと思いますよ。</p>
我妻委員長	<p>今、櫻井委員からこの線でいいのではないかということですが、八雲町と江別の2カ所で、服部醸造と江別麦の会も含めて打診してみる、そういうことでよろしいですか。</p>

	<p>(「はい」の声)</p> <p>ここで暫時、休憩いたします。</p>
	<p>休憩</p> <p>9:53</p> <p>再開</p> <p>10:10</p>
我妻委員長	<p>再開します。</p> <p>先ほど確認いただきましたように視察先として八雲町、できればその農商工連携の業者でもある服部醸造さんとか岡の駅、これはリニューアルした物産交流施設ですね、これをメインにした視察と。</p> <p>もう一つは江別市。小麦をベースにしたオール江別という活性化の動きについて学んでくるということで江別市と江別麦の会を中心に、あとそれに関連する施設等も視察できればということで、これから当たりたいと思います。</p> <p>日程等については7月4日の週を基本にこれから事務局さんに苦勞を掛けますけども、順序は初日に八雲に寄って午後の部分をかけて視察して、その日のうちに江別の近くまで行って、2日目に江別を中心にいろんな施設も見られるかと思しますので。3日目の朝に帰途につくと。そういう流れを基本にしてこれから詰めてまいりたいと思います。</p> <p>藤田委員。</p>
藤田委員	<p>一応、4日の週で考えて、できなければ19日の週も考えているということですか。</p>
山岸委員	<p>第1案として7月4日の週。</p>
我妻委員長	<p>4日の週でどうしてもだめであれば19の。4日の週に極端な話、木、金、土の日程まで可能なので。帰り道は土曜日でもいいでしょうから。その日程の中でできるだけ調整することを基本に。どうしてもだめであれば今、藤田さんから言われたように19の週も最終的に。ただ、二つの行政ですから大きく振って検討するのも難しいのではないかと思います。いずれ4日の週で難しければ。あとは今の順序でやりますけども、どうしても江別が最初で八雲が次の日になる場合、1日目ができませんので2日目が江別、3日目の帰り足の中で八雲となります。そのときは八雲の近くの宿にして2時間半程度の視察。江別市と八雲町との兼ね合いでその線もあり得るということを確認していただけますかね。</p> <p>(「はい」の声)</p>
山岸委員	<p>帰りに八雲を見るとなると、初日はそんなに早く出なくてもいいということなのかな。視察が一切、無いのだから。</p>
我妻委員長	<p>それはそうです。</p>
山岸委員	<p>初日は泊まるだけだからね。</p>
我妻委員長	<p>出発時間も当然、違ってきます。いずれ1日目に視察はできないということです。第1案は帰りが移動時間。それが無理だったら行きが移動時間。じゃ、そういうことを基本に次長に苦勞を掛けますけどお願いするとい</p>

	<p>うことでよろしいですか。 (「はい」の声) 事務局と相談しながら細かいところを詰めさせていただきますので、よろしくをお願いします。今の範囲で決まったら事務連絡等で大丈夫ですかね。 (「はい」の声) あらためて常任委員会を開催しなくてもよろしいですかね。 (「はい」の声) それが具体化したら、行くに当たってもう一回、予備研修みたいなものもやっていかないと大変なので、それは追って調整したいと思います。 (「資料のコピーをください」の声) 休憩します。</p>
	<p>休憩 10:15 再開 10:29</p>
我妻委員長	<p>再開します。 今日、確認したいことは以上でございますが、よろしいですね。 (「はい」の声) じゃ、副委員長、お願いします。</p>
山岸副委員長	<p>いろいろ委員のみなさんのご協力を得ながら所管事務調査の選定につきまして今日、一応は確定させていただきました。ただ、相手があることでですので次長さんのほうから確認をしていただいて、それに基づいて決定をしていきたいと、そういうことになりますので。 それと皆さんに委員長が用意してくれた資料。どうぞ事前に情報という意味でしっかり読んでいただいて、中身を精査していただいた中で視察研修の場所で私たち美里町の農商工連携に役立つように勉強してきたいと思えます。自らしっかりと情報を受けてほしいと思えますので、よろしくをお願いします。 これで今日の常任委員会は終了させていただきたいと思えます。</p>

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

総務、産業、建設常任委員会

委員長